

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
会長 遠藤 秀治

第 271 回岐阜県病院薬剤師会研修会開催のご案内

拝啓

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 24 年 9 月 1 日（土）午後 3 時 00 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

【内容】 総合司会 大垣市民病院 薬剤部 鈴木 宣雄

1、 会長挨拶

2、 教育講演

「チーム医療を実践する上で求められるもの」

中外製薬(株)オンコロジーユニット 相馬 道郎 先生

3、 会員発表

1. 「当院薬剤部における病棟薬剤業務実施加算算定への業務改善」

岐阜赤十字病院 薬剤部 石原 祥史 先生

2. 「外来がん化学療法室における薬剤師による

診察前患者面談の導入とその有用性評価」

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 吉見 千明 先生

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円

＊ 当研修会は岐阜県病院薬剤師会研修制度及び日本薬剤師研修センター研修制度に該当する研修会です。

主催 岐阜県病院薬剤師会

当院薬剤部における病棟薬剤業務実施加算算定への業務改善

石原祥史、木村和繁、大澤啓子、林貴子、篠原紀美、林晴美

岐阜赤十字病院 薬剤部

岐阜赤十字病院は許可病床 311 床・平均在院日数 14.14 日の急性期病院として、岐阜市北部の地域医療を担っている地域支援病院である。

その中で薬剤部の業務は、1998 年 11 月の院外処方箋全面発行（一部を除く）を契機に、入院患者中心の病棟における医薬品管理や情報提供そして医薬品適正使用の指導等へ移行した。2007 年 4 月には西病棟新営時に、従来の外来棟から病棟棟へ移転し、中央薬剤部（セントラル）だけでなく、西 5F と西 7F の病棟内にサテライトも設けた。また、同年 7 月からはオーダーリングシステム導入に伴い、部門システムも導入し、従来の業務の効率化を含めて新たな展開を図って来た。

現在は薬剤師 12 名・薬剤助手 2 名の体制で業務を行っており、下記は昨年度の実績である。（件数は月平均。）

- ・ 院外処方箋発行率：96.7%
- ・ 入院処方箋枚数：4220.3 枚
- ・ 入院注射処方箋枚数：7087.5 枚
- ・ 薬剤管理指導算定件数：755.2 件（325 点：544.3 件、380 点：210.0 件、430 点：0.5 件）
- ・ 退院時薬剤情報提供料算定件数：25.3 件
- ・ 麻薬加算算定件数：12.4 件
- ・ 医薬品安全性情報等管理体制加算算定件数：303 件
- ・ 高カロリー輸液無菌調製件数：504 件（実施率：98.8%）
- ・ 入院抗悪性腫瘍剤無菌調製件数：147.4 件（実施率：100%）
- ・ 外来抗悪性腫瘍剤無菌調製件数：77.9 件（実施率：100%）
- ・ TDM 解析件数：8.3 件
- ・ 持参薬鑑別報告件数：353 件（入院時：306.3 件、外来受診時：46.8 件）

今回の病棟薬剤業務実施加算を算定するにあたり、「1 病棟・1 週間あたり 20 時間相当以上の病棟薬剤業務時間」が必要であるため、下記のような業務の改善を行った。

- ・ 薬剤助手を 1 名増員し、業務内容・量の見直しを行った。また、テクニシャンとして薬剤師以外で出来る業務は全て行えるよう教育も行った。
- ・ 薬剤部でしか使用出来なかった薬剤支援システム（主に持参薬鑑別・薬剤管理指導記録）に Web 版を導入することで、セントラル以外でも使用可能とした。
- ・ 西 5F・西 7F も含め全ての病棟で、業務を行える場所の確保と専用端末・机・椅子等の設備を整えた。
- ・ セントラルでの業務の担当制と時間配分を見直し、各病棟担当制の維持と病棟業務の時間確保を優先した業務分担表を作成した。

これらにより病棟担当薬剤師 2 名のうちどちらか 1 名は常に病棟にいる形をとることが出来たため、薬剤師としての職能を活かした業務展開を図っている。

外来がん化学療法室における薬剤師による診察前患者面談の導入とその有用性評価

¹岐阜大学病院薬剤部、²岐阜大学病院看護部、³岐阜大学病院がんセンター

○吉見千明¹、山田摩耶¹、藤井宏典¹、西垣美奈子¹、飯原大稔¹、
北市清幸¹、高橋繭²、倉橋小代子²、高橋孝夫³、吉田和弘³、伊藤善規¹

当院では2008年4月から外来がん化学療法室に薬剤師2名を専任配置し、安全かつ有効ながん化学療法を提供すべく、医師および看護師と連携して業務を行っている。2010年4月から薬剤師3名体制とし、翌年5月からは患者来院時の採血から診察までの待ち時間を利用した「診察前患者面談」を開始し、患者情報の収集、副作用モニタリングおよび副作用対策のための処方提案を充実した。今回、診察前面談の有用性評価について報告する。患者指導は全員に実施し、診察前患者面談実施率は約50%であった。診察前患者面談開始後1年間における処方提案件数は開始前1年間と比較して大幅に増加した。提案採択率は94%と高く、提案内容で最も多かったのは制吐対策、次いで末梢神経障害対策、皮膚障害対策となった。制吐対策では、国内外のガイドラインに準じた対策の推進を中心に行った結果、高度ならびに中等度催吐性リスク抗がん剤投与時の完全制吐率が向上した。また、末梢神経障害に対してプレガバリンの処方提案を実施した結果、グレード2以上の症状発現率が有意に低下した。さらに、EGFR阻害薬による蕁麻疹様皮疹に対してスキンケアとともにミノサイクリンの予防投薬を提案し、症状の改善が確認された。以上、薬剤師による診察前患者面談の有用性が明らかとなった。

学術講演会のご案内

謹啓

時下、先生におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、このたび下記のとおり学術講演会を開催させていただく運びとなりました。
ご多忙中誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

記

日時：平成 24 年 9 月 1 日（土）午後 4 時 30 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695-2 TEL (058) 296—1200

■製品紹介

『前立腺癌治療剤ゴナックス皮下注用について』

アステラス製薬株式会社 吉水 睦海

■特別講演

座長 木沢記念病院 薬剤部長 加藤 武司 先生

『前立腺がん薬物ケアにおけるチェックポイント』

ながえ前立腺ケアクリニック

院長 永江 浩史 先生

共催 岐阜県病院薬剤師会
アステラス製薬株式会社

※ 講演会終了後、グループディスカッションを計画しております。